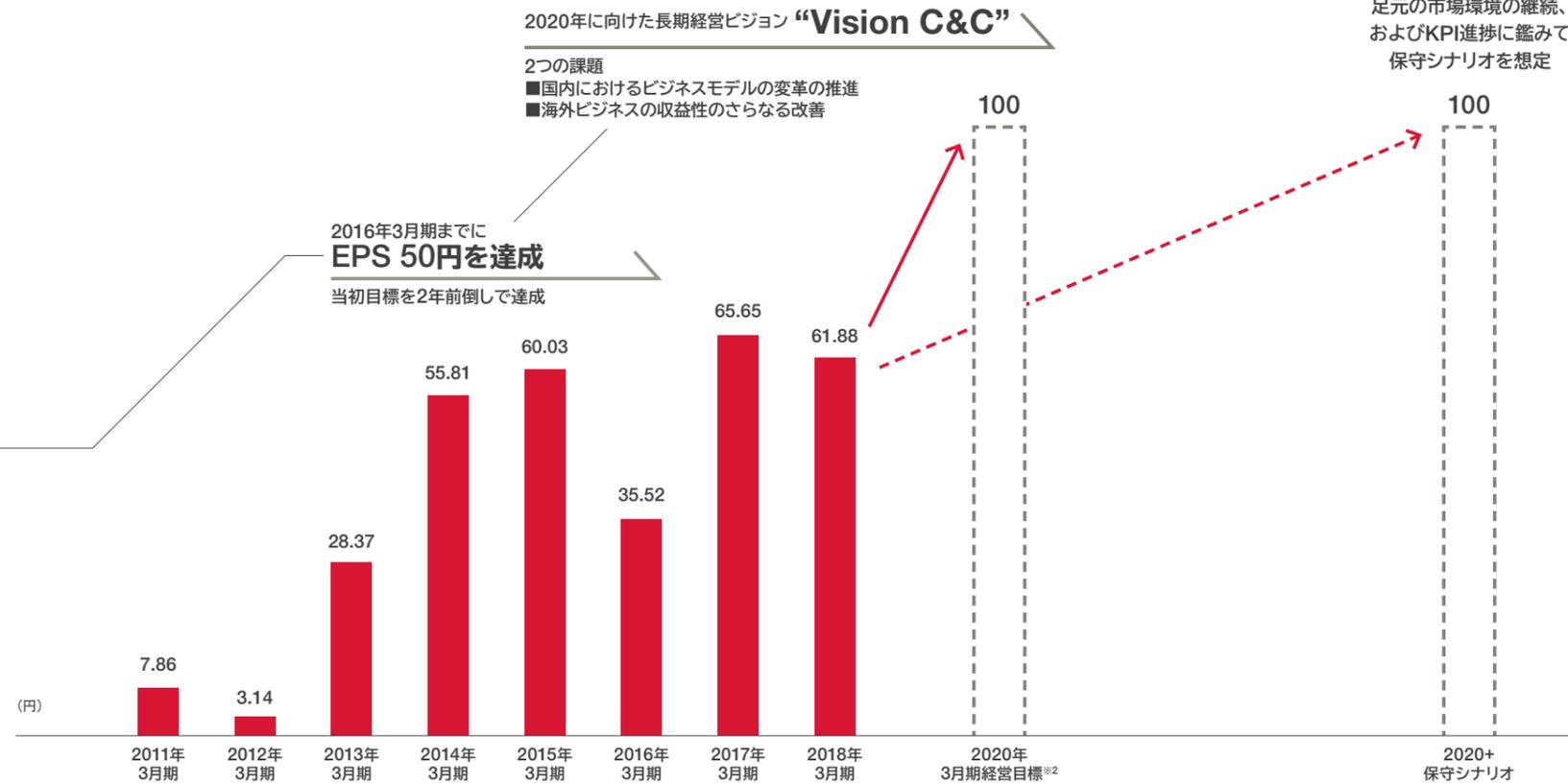


「どのような環境であっても、持続的に成長ができる事業基盤を構築する」ことを目指し、2014年8月に2020年3月期に向けた長期経営ビジョン(Vision C&C)を掲げました。戦略の大きなテーマである「国内におけるビジネスモデルの変革」と「海外ビジネスの収益性の改善」の2つを軸に、EPS 100円を安定的に確保できる体制の確立に向けて、着実に実績を積み重ねてまいります。また、2020年以降を見据えた長期的な成長のための布石作りにも、引き続き取り組んでまいります。

経営目標(EPS※1)と、その進捗

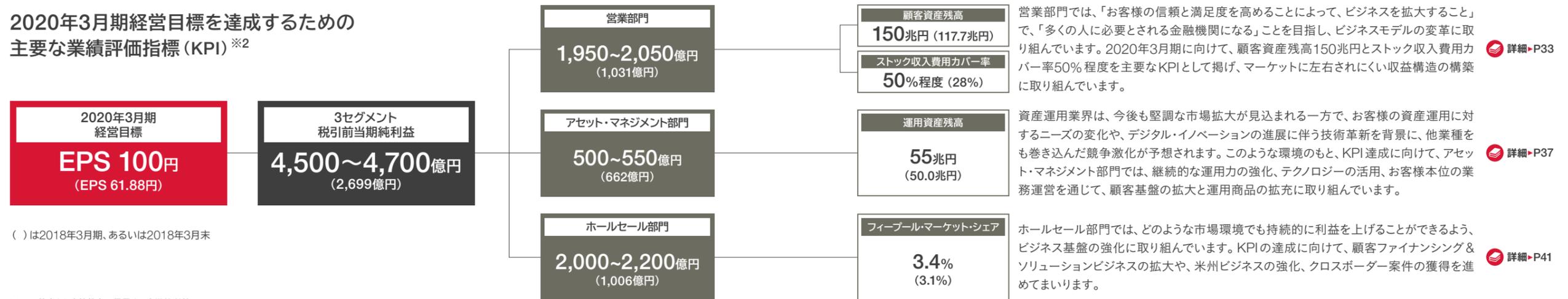


2020年その先へ “Post Vision C&C”

- LINE株式会社との金融事業における業務提携**  
2018年5月、当社とLINE株式会社、LINE Financial株式会社の間で、LINE証券株式会社設立に係る合弁契約を締結しました。今後、同社を通じて、LINEプラットフォーム上で、資産形成層をターゲットとした非対面証券ブローカレッジ、および非対面証券投資コンサルティングサービス等を提供する予定です。
- エイト・グループのモバイル・アプリ開発力を活用した投資サービスの提供**  
2018年4月、モバイル・アプリの開発力に強みを持つエイト・グループへ総額約27億円を出資しました。今後、iOSおよびAndroid向けのアプリを用いて、ETF(上場投資信託)を投資対象とした投資一任型ロボアドバイザー・サービスや野村アセットマネジメントが運用するインデックスファンドシリーズ「Funds-i(ファンズアイ)」を提供する予定です。
- マーチャント・バンキング・ビジネスの立ち上げ**  
2018年1月、マーチャント・バンキング部門を新設しました。当初1,000億円程度を上限に、多様化・複雑化するお客様の課題解決のために、事業再編・事業承継・事業再生・MBO等の案件において主にエクイティ等を活用したソリューションを提供していきます。
- 中国ビジネスへの本格参入**  
2018年5月、中国証券監督管理委員会に合弁による証券会社設立を申請しました。当社の富裕層ビジネスの実績・知見を活かし、まずは中国の富裕層向けビジネスから着手し、将来的にはホールセール・ビジネスを含めた他ビジネスへと展開していく予定です。
- イノベーションの推進**  
お客様への提供価値向上と、新たなビジネス機会追求を目的に、テクノロジーの活用も含めたイノベーションへの取り組みを進めています。

詳細▶P29

2020年3月期経営目標を達成するための主要な業績評価指標(KPI)※2



※1 一株当たり当社株主に帰属する当期純利益  
 ※2 2020年3月期環境想定: 日経平均株価25,000円、ドル円レート115円、国内法人税の実効税率20%台、ホールセール関連ファイブール成長率1%(年率)